

20世紀の映像の百科事典をひらく 映像のフィールドワーク展 vol.2

# ひもをうむ、あむ、

# くむ、むすぶ

2023

7 / 25 TUE



10 / 22 SUN

9時 → 21時  
休 ①② ※祝日は除く



生活工房ギャラリー  
(三軒茶屋駅直結キャロットタワー3階)

主催=公益財団法人せたがや文化財団 生活工房  
企画制作=EC活用プロジェクト (下中菜穂、中櫃きさら (ボレボレ東中野)、丹羽朋子)  
協力=公益財団法人下中記念財団、関野吉晴、墨田区  
後援=世田谷区、世田谷区教育委員会



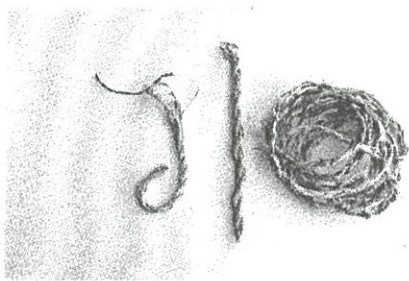
生活工房

《入場無料》



# ひもをうむ、あむ、くむ、むすぶ

みる、やってみる、問いつづける  
わたしの今ここから



関連イベント「映像をみる、やってみる」ワークショップ

ワークショップは全て

定員：20名（抽選）/会場：4階ワークショップルームAB

②～⑥の参加費：1,000円（保護者は無料）

①②⑥の講師：EC活用プロジェクトメンバー

申込方法：生活工房WEBサイトより、各締切日までに

## 「映像をみる、やってみる」① ばける

植物やひもを材料に仮面をつくって、みんなで三茶のまにに

日時：2023年8月4日(金) 13:00～16:00/みる映像：『コクリト』仮面舞踊  
ブラジル、トカンティンス地方、1959年ほか/対象：幼児以上～大人  
(小3以下は保護者と参加)/参加費：500円(保護者は無料)/申込締切：7月20日(木)

## 「映像をみる、やってみる」② なうよる

自分の手や道具を使ってひもづくりの原点と進化をたどりながら縄をつくります。

日時：2023年8月5日(土) 10:30～16:30/みる映像：『屋根葺き用縄づくり』  
中央ヨーロッパ、シュレースヴィヒ、1962年ほか/対象：小学校3年生以上～大人  
(小3は保護者と参加)/締切：7月20日(木)

## 「映像をみる、やってみる」③ たばねる

葉や草や枝を材料に、夏の伝統行事にちなんだ盆舟をつくります。  
日時：2023年8月26日(土) 10:30～16:30/みる映像：『アシ舟「カバリト」  
づくり』北ベルー西海岸、1962年ほか/ゲスト：ながはたじゅんべい(民俗  
行事の写真を撮っています)/対象：小学校3年生以上～大人(小3は保護者  
と参加)/締切：8月10日(木)

## 「映像をみる、やってみる」④ あむ

草や人の背丈ほどあるヤシの葉などを材料に、かごを編み出します。  
日時：2023年9月16日(土) 10:30～16:30/みる映像：『ポールを編む』ギ  
ルバート諸島、ノヌーティ環礁、1963年ほか/ゲスト：本間一恵(かご編みの  
制作と研究をしています)/対象：小学校3年生以上～大人(小3は保護者と  
参加)/締切：8月31日(木)

## 「映像をみる、やってみる」⑤ くむむすぶ

和紙の材料となる楮の芯「かじがら」をつかって、小屋を組み立てます。  
日時：2023年9月18日(月祝) 10:30～16:30/みる映像：『テントの組み立  
てと撤収』東サハラ、チベスチ山地、1963年ほか/ゲスト：西村優子(紙の  
造形作家)+EC活用プロジェクト/対象：小学校3年生以上～大人(小3  
は保護者と参加)/締切：8月31日(木)

## 「映像をみる、やってみる」⑥ あむからおるへ

こも編機をつかって、植物や古布などを編み込んだ大きな数物をつくり  
ます。  
開催日時：2023年10月1日(日) 10:30～16:30/みる映像：おる『アシのむ  
しろづくり』イラク、1955年ほか/対象：小学校3年生以上～大人(小3  
は保護者と参加)/締切：9月18日(月)

ワークショップ協力：株式会社社業水園、JA東京中央、景丘の家、くさばら公園、  
上東を愛する会(高知県の町・吾北)、一般財団法人進化生物学研究所、  
世田谷区立次大夫堀公園国民家園・岡本公園国民家園、  
網遊塾工房 風花、佐藤小菜、松田牧恵、松田洋一  
一部、JSPS科研費23H03899 C03、20H01403助成

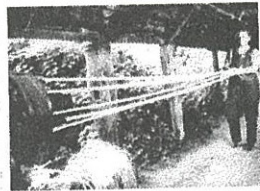
1952年、第2次世界大戦の敗戦後間もないドイツの国立科学映画研究所で、ある壮大なプロジェクトが始まりました。その名は「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」(以下、ECフィルム)。世界中の知の記録を集積することを目指した、「映像による百科事典」です。以降40年余りの歳月をかけ、あまたの研究者やカメラマンが世界各地に派遣され、その地に生きる人々の暮らしや儀礼、動植物の生命活動をフィルムに収めました。映像の総数は、実に3,000タイトル以上にも及びます。

2019年春、生活工房で開催した「映像のフィールドワーク展」の第二弾である本展は、ECフィルムの中から、績む 編む 組む 結ぶ よる 繕う 織る、という「ひもづくり」にまつわる映像約50点(会期中入替あり)を展示上映し、身近にある植物や獣毛を素材に、衣服から住居まであらゆるものを生み出してきた人間のものづくりの原点を辿る展覧会です。

ECフィルムには、遠い昔の遠い国の人々が紡いだ、美しい手仕事の時間が記録されています。本展では、そのタイムカプセルを21世紀に開き、映像を「みて」草や古布など生活の中から素材を採集して「やってみる」、そして自分の「手から考える」ことを実践するワークショップも行います。映像をフィールドワークすることの楽しさと「みる、やってみる」のアイデアを散りばめた展覧会へ、ぜひご来場ください。



『ドーム型家屋の建築』西アフリカ、リマベ族、1962年



『グリュックスタットの端唄づくり』中央ヨーロッパ、ホルシュティン、1969年



『アシ舟「カバリト」づくり』北ベルー西海岸、1962年

## 関連イベント II トークイベント 「みる、やってみる、問い続ける—日本の今ここから」

自ら採集した素材で印刷用インクを創り出す吉田勝信さんと、津波被災した宮城県南三陸町で慰霊や災害を生き抜く知恵の伝承の場として、自らの手で森を創生するプロジェクトを始めた後藤一磨さん。ECにも似たお二人の活動から、現代に生きる私たちが企業や行政に任せきりにしているモノや場づくりを、自らの手でやってみる面白さや可能性を考えます。

開催日時：2023年10月7日(土) 14:00～16:00/ゲスト：吉田勝信(吉勝制作所)、後藤一磨(「海の見える命の森」プロジェクト)/定員：50名(先着)/会場：5階セミナールームAB/参加費：500円/申込開始：7月25日(火) 10:00から、生活工房フォームより

日時 2023.7.25(火)→10.22(日) 9時→21時 休=㊶ ※祝日は除く

会場 生活工房ギャラリー(三軒茶屋駅直結キャロットタワー 3階)

料金 入場無料

主催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房  
〒154-0004 東京都世田谷区  
太子堂4-1-1キャロットタワー  
03-5432-1543/info@setagaya-ldc.net  
https://www.setagaya-ldc.net/

